

氏名 前 律 夫

学位の種類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 1 1 6 0 号

学位授与の日付 昭和 5 5 年 1 2 月 3 1 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学位論文題目 心電図の経年的変化に関する研究

論文審査委員 教授 木村 郁郎 教授 大藤 眞 教授 中山 沃

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

心電図の経年的変化を検討する目的で、昭和 4 1 年度より岡山県下の三地区で昭和 5 1 年度までの心電図を Minnesota Code で分類し、血圧、加齢との関係を追求した。高血圧の分類は、WHO の基準によった。

対象は昭和 4 1 年度に 3 5 ～ 6 5 歳の 1 9 6 0 名であり、心電図は標準 1 2 誘導を記録した。

高血圧の出現率は昭和 4 5 年度まで減少し、加齢による高血圧の出現率は昭和 4 7 年までは減少し、昭和 4 9 年以降はやや増加した。これは指導、加療によるものと考えられた。

心電図では Code 3 の小項目 2 つ以上または Code 4, Code 5 を合併したもの（以下左室肥大 Code）が昭和 4 7 年度から増加した。

Code 4, Code 5 は女性に多くみられ、変動もあり、加齢、血圧との関係は明らかではなかった。

Code の経過をみるため初年度（昭和 4 1 年）、昭和 4 5 年及び昭和 5 1 年に受診した 1 2 4 3 名で検討した。高血圧では Code 1-0 が左室肥大 Code に移行するものが多くみられた。昭和 4 1 年に左室肥大 Code を示したものは殆んど不変であった。

また高血圧の持続により、Code 1-0 は減少し、左室肥大 Code が増加するが、収縮期血圧では 1 6 0 mmHg 以上では減少率は一定であった。

また昭和 4 1 年に Code 1-0 で血圧、検尿、理学的所見に異常がないものは、1 0 年後も 8 0 % 以上が Code 1-0 であった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は心電図の経年的変化について臨床的に又地域別に研究したものであるが、従

来十分に確立されていなかった心電図変化の推移について加齢，高血圧など対比して観察し，重要な知見をえたものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位をうる資格があると認める。